

関西大学

・取り組み名称

コロナ禍を乗り越えた SDGs + beyond に向けて

・取り組み概要

SDGs の中間評価年となる 2025 年。万博にて「SDGs 達成 + beyond」宣言が期待されますが、コロナ禍は SDGs の多くの目標にとってプレーキになっているように見えます。しかし、視点を変えれば、各目標を達成するための問題点や道筋を示してくれる機会になり得るかもしれません。そして、コロナ禍を乗り越えることが SDGs の取り組みを加速させ、SDGs のその先をイメージさせてくれるかもしれません。そのために、「関西大学 SDGs パートナー制度」を制定する予定です。この制度を通じ、本学の取り組みに賛同する企業、自治体、教育機関、団体等とパートナーとして連携し、相互の人的、知的資源の交流と物的資源の活用により、SDGs の一層の推進を図り、本学が有する豊富なネットワークとの連携を強化します。本制度を基盤に「産・官・学」協働の多彩なプロジェクトチームを結成し、世界に溢れる様々な社会課題に対するトレードオンを目指します。

・未来への宣言

コロナ禍を乗り越え、SDGs のさらに先を見通した理想の未来をみんなで考えましょう。

・提供できるリソース

リソース	内容
人材	初等教育から高等教育までを担う教育人材を有しています。
ネットワーク	世界中にいる 48 万人に及ぶ校友（卒業生）が、横の広がりを拡充します。さらに国内外の大学、公的機関、地方自治体、企業等との連携実績があります。
技術・ノウハウ	研究・教育・社会連携等を中心にさまざまな専門分野と経歴を持つ大学教員が産官学連携により社会課題の解決に寄与します。
フィールド	千里山キャンパス（吹田市）、高槻、高槻ミューズキャンパス（高槻市）、堺キャンパス（堺市）、梅田キャンパス（大阪市）、SDGs ラーニングラボ（和歌山県田辺市）等を中心に、大学生の正課・課外教育を通じた展開が可能です。また、各キャンパスを街と見立てた実証実験が可能です。
情報発信・PR	大学の各種広報媒体、全国にある校友会支部組織・父母組織等を活用できます。

・創出・支援したい共創チャレンジの取り組み

幼児教育から高等教育までを網羅し、学生数 3 万人強を有する総合大学として、若者が主役となるチャレンジを創出・支援したいと考えています。例えば、2025 年には社会人として活躍しているであろう現大学生には、社会の課題を探り出し、改善策を提案するような取り組み。2025 年には大学生として夢を追いかけているであろう現中高校生には、みんなに共感してもらえる希望や楽しみを生み出すような取り組み。さらに 13 学部と 15 研究科の教職員が研究を通じて培ってきた学外のネットワークを活用し、「産・官・学」協働の多様な取り組みを創出・支援したいと考えています。

・今後取り組みを展開したい地域・方法

関西大学は、大阪府内に千里山・高槻・高槻ミューズ・堺・梅田といったキャンパスを持ち、セミナーハウスや SDGs ラーニングラボを有しています。まさに万博のお膝元において、本学および地域社会が有する知的・人的資源を相互に活用した展開をしていきたいと考えています。

- ・共創していきたい方々

大学や小中高等学校、企業、行政等、多様な人たちや組織との共創を期待しています。